

5月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和3年4月30日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子
<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



南舎から見える長谷山の新緑がとても美しい季節となりました。休み時間になると、多くの子どもたちが運動場に出て、ドッジボールやサッカー、鬼ごっこ、登り棒など元気に遊ぶ姿が見えます。

毎朝、校門の前で子どもたちを迎えていると、素敵な姿をたくさん見ることができます。時々後ろを振り返り、1年生を気遣う登校班長の姿、大きな声で「おはようございます。」と挨拶をする姿、途中で転んでしまった1年生の手を引いて歩く6年生の姿など、朝からすがすがしい、そして温かい気持ちになります。

挨拶をする子どもたちの声も4月当初よりずいぶん大きくなってきました。恥ずかしそうにしていた1年生も顔を上げ、こちらを見てにこやかに挨拶をする子どもが増えてきました。入学式に、挨拶をして「はせやまん」に負けない「元気スマイル」を身に付けようと話したことを覚えていてがんばっているのかもしれません。感心するのは、上級生の中に子どもたちから先に挨拶をする子の多いこと、そして、会釈をしながら挨拶をする子の多いことです。きっと、学校に着くまでに、それぞれのお家の方が、また通学路の途中で見守ってくださる地域の方々があるように促してくださっているのでしょう。ありがとうございます。



また先日、子どもたちの様子を見て回っていると、掃除の終わりにバケツの水が全部床に流れてしまった場面に出合いました。あっという間に大勢の子どもたちが雑巾を手に集まってきて、みんなで水を拭き取っています。当たり前のようにみんなが動いていましたが、そうやって自分たちで判断し、いいと思うことを進んで行う「勇気」の姿が見え、自分も友達も大切にやるやさしさが育っていることにうれしく思いました。

今年度から「GIGAスクール構想」のもと1人1台の端末を使った学習が始まりました。先週、すべての教室で一人一人にタブレットを渡し、「タブレット開き」を行いました。タブレットを使うときのルールを指導するとともに、実際にタブレットの操作を行う授業です。大事そうにタブレットを手に取り、先生の話聞きながらタブレットの画面をのぞき込む子どもたちの目の輝きを見ている私がうれしくなりました。自然に教え合う姿が見られたり、こうしたらどうなるかなと次の学習に自ら進んで学習をしたりする姿に「やる気」を見ることができました。これからこの「やる気」を大切にしながら従来の学習方法と組み合わせ、子どもたちと「主体的・対話的で深い学び」を実現し、子どもたちが目まぐるしく変化する社会の中で前向きに生きる力を付けるべく、私たち教職員も研修を積みながら取り組んでいきます。

これからも、新舞鶴小学校の目指す子ども像である「やる気! 勇気! 元気! あふれる笑顔 新舞鶴っ子」を育て、子どもたちが「今日も来てよかった、明日も来よう」と思える学校づくりに努めます。保護者の皆様、地域の皆様には、どうぞ温かく見守っていただきますよう、お願いいたします。



明日から連休が始まります。子どもたちの笑顔のため、3密を避けるなどの新型コロナウイルス感染症拡大防止につながる行動についてのご協力をよろしくお願いします。

校長 小森 昌子